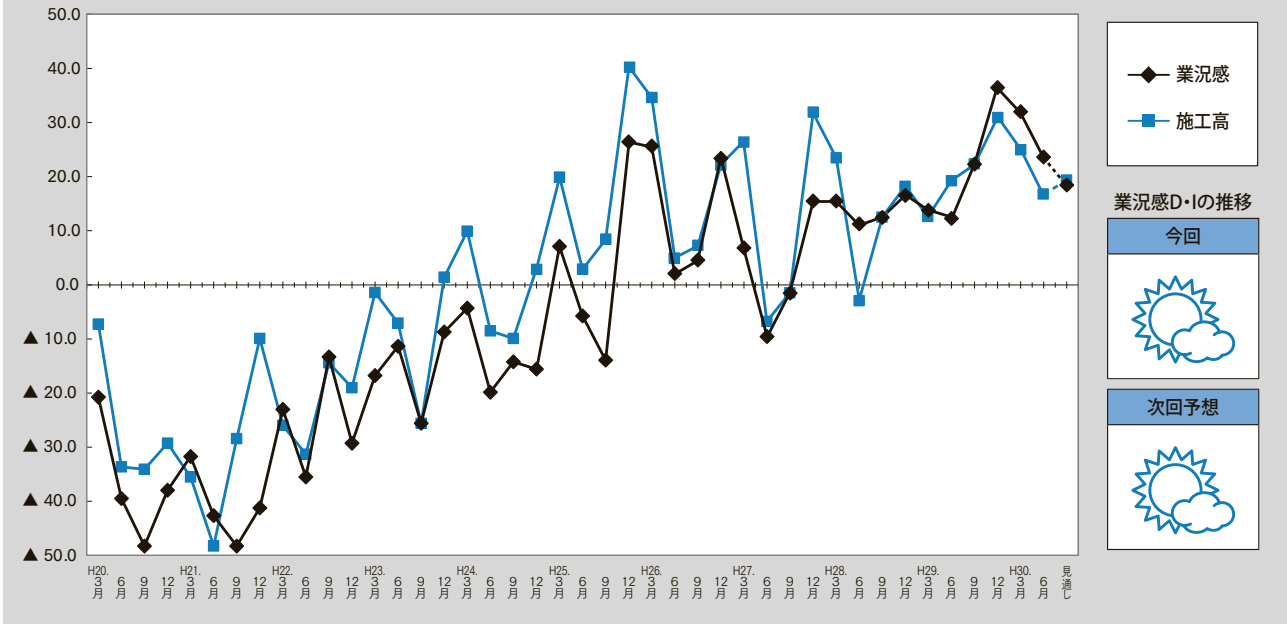


# 建設業

Construction industry

# 業況感好調を維持

D・I 推移グラフ (建設業)



## 1 今期 (平成30年4 - 6月期)

建設業の業況感は、今期23.6(前期31.9)と、前期と比較し8.3ポイント悪化したものの、依然として好調を維持している。施工高、収益も前期と比較すると悪化しているが、増加傾向にある。また、材料価格は上昇傾向に変わりはないが、前期と比較すると改善している。在庫は5期ぶりに過剰感が生じ、人手と設備の不足感は変わらず慢性的なものとなっている。

## 2 来期の予想 (平成30年7 - 9月期)

来期の業況感はD I値で5.3ポイント悪化するものの、引き続きプラスを維持できる見込みである。施工高、収益も引き続き好調に推移し、材料価格の上昇傾向が弱まることも見込まれており、資金繰りも改善する見通しである。なお、人手不足感については悪化が予想され、解消の目処は立っておらず、予想通りのD I値となれば二桁の不足感は9期連続となる。

## DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H29.6月期	H29.9月期	H29.12月期	H30.3月期	H30.6月期	来期見込み
業況感	12.5	22.2	36.6	31.9	23.6	18.3
施工高	19.2	22.2	31.0	25.0	16.7	19.4
収益	12.3	16.7	29.6	25.0	18.1	13.9
請負価格	11.0	▲ 6.9	12.7	4.2	4.2	▲ 1.4
材料価格	▲ 24.7	▲ 22.2	▲ 16.9	▲ 18.1	▲ 13.9	▲ 6.9
在庫	3.0	1.2	11.1	8.3	▲ 2.7	1.4
資金繰り	▲ 12.3	▲ 11.1	0.0	8.3	5.6	15.3
人手	24.7	19.4	25.4	25.4	22.2	28.2
設備状況	8.2	6.9	5.6	4.2	7.0	8.3

## 業況調査メモ

最近の医療・介護施設は木造建築が増えている。2015年に開院し、デイケア・有料老人ホームを併設した吉野東ホームクリニック(鹿児島市吉野町)は、床、天井、壁、廊下に県産材をふんだんに使っている。おく小児矯正歯科(鹿児島市田上)は3年前の改築で、それまでのコンクリートを木造に変更。内装も木肌が美しい県産材を使っている。いずれも県産材の利用を促進する「かごしま木づかい推進事業」の補助金を活用した。木のぬくもりに包まれる施設は、居るだけで人の気持ちを癒す効果がある。一般住宅でも木造建築が見直されつつある。